

だれもいっしょかい  
団体紹介CATEGORY  
子育て環境日本一

府民交流フェスタ &gt; 団体紹介 &gt; 子育て環境日本一 &gt; NPO法人子育てサークル虹色でんしゃ

## ② NPO法人子育てサークル虹色でんしゃ

## 目次

- 幸せは「なる」のではなく「ある」もの。自分を後回しにしない子育て
  - 自らの経験から生まれたママのため訪問事業
  - 子育て支援のオンライン化
  - オンラインの利点を最大限に生かして
  - 多彩な講座
- 虹色でんしゃという場所の意味
  - 虹色でんしゃの二つの役割
  - 子育て中のママが集まつて悩みや情報共有ができる場所
  - 新しいことを始めたい、自分のスキルを試したいママたちのチャレンジの場所
  - 想が循環する場

## 団体紹介



## フリーワード

## 概要

## 子育て環境日本一

## 府民運動

## 文化創造

## 新産業創造・成長

## 災害・犯罪等からの安全・安心

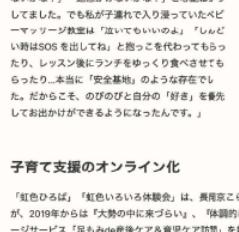
## シェア

Twitterでシェア

Facebookでシェア

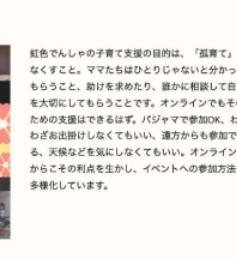
## 幸せは「なる」のではなく「ある」もの。自分を後回しにしない子育て

親にとって、子どもが一番。でもお母さんだってひとりの女性、人間です。子どものことばかりで自分のことは後回しになってしまいかがみですが、常に子どもを優先する生活の流れはスリースイッチ教説で、疲れません。リフレッシュに外に出たいと思っても、子どもが騒いでしまうかも、体調にも気を使いつづくと常に不安が付きません。



そんなママさんを心身ともに癒し、他愛もないおしゃべりや癒愈をごぼす機会を与えてくれるのが長岡市で活動される「NPO法人子育てサークル虹色でんしゃ」です。ママとお子さんの集いの場「虹色ひろば」、ママの「見てみたい！」を叶え、さまざまな活動を体験できる「虹いろいろ体験会」、なんらかの理由で外に出られないママのための「足もみde産後ケア＆育児ケア訪問」、サービスを提供されています。

## 自身の経験から生まれたママのための訪問事業



理事長であるのだめぐみさん。ご自身が初めての子育てでサポートされた経験から、虹色でんしゃを設立されました。

「私も第1子の子育て中は、どこに行こうにも『誰かないかな?』『迷惑かけないかな?』など心配ばかりでした。でも私の子達で入り浸っていたペディマーリージュ教室へ『並んでいいのよ』『しゃべり声はOSをしてね』と抱っこをねらってもらったり、レッスン後にシングルでゆっくり食べさせてもらったり…本当に『安全基地』のような存在でした。だからこそ、ののびの自分の「好み」を尊重してお出かけができるようにならんです。」

## 子育て支援のオンライン化

「虹色ひろば」「虹いろいろ体験会」は、長岡市こらさをはじめとする公共スペースなどを借りての開催でしたが、2019年からは「大勢の中に来づらい」、「体調的に外出するのがしんどい」というママに向けた訪問マッサージサービス「足もみde産後ケア＆育児ケア訪問」を始められました。しかし、『知らない人がいきなり家にくるのは不安』、『旦那さんがよく思わない』、など難しい場合も。

オンラインではそんな方でも気軽に参加できる、まずどんな人たちがいるのか知ってもらえるというメリットを生かして、今後も活用することできるに利用しやすいサービスを目指されています。

## オンラインの利点を最大限に生かして



虹色でんしゃの子育て支援の目的は、「孤育て」をなくすこと。ママたちはひとりじゃないと分かってもらうこと、助けを求めるなり、誰かに相談して自分を大らかにしてもらうことです。オンラインでそのままのための支援はできるはず。パジャマで参加OK、わざわざ出掛けしなくてもいい、遠方からも参加できる。天候などを感じにくてもいい。オンラインだからこそその利点を生かし、イベントへの参加方法も多様化しています。

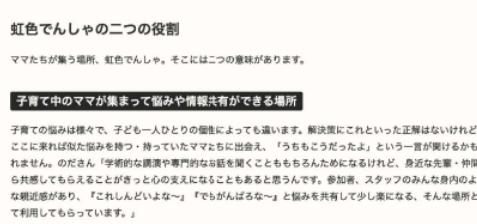
## 多彩な講座

講座の内容は、美容講座からファイナンシャル裏座まで様々です。取材に伺った12月15日に開催されていたのは「女性のため幸せいっぱいの重ね座min」(ボディーウォーク編)。会場6組、オンライン5組の参加でした。特にスピーチな先生が、いつもでも美しい女でいるためのトレーニングを優しく指導されていました。

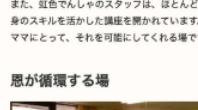
オンライン講座は、この日の映像を編集し、後日期間を設けて配信するというもの。リアルに参加したい、オンラインで参加したい、利用者さんのそれぞれの要望に応えてくれます。



雰囲気は暖かく、終りリラックスした様子。白由に動き回るお子さんたち。ワーク中のママにもたれかかって、隣の参加者のスペースに行ってしまったのも、みちさん気負い過ぎず、「すいません～」「全然大丈夫です～」といいやりのある会話が交わされました。



また、講座中お母さんから離れ不安そだつた赤ちゃんも、のびのびと元気で落ちていた様子。利用者の方も講座に集中・リラックスできて、とても頼もしい存在です。



さあざまな年齢のお子さんが集合

また、講座中お母さんから離れ不安そだつた赤ちゃんも、のびのびと元気で落ちていた様子。利用者の方も講座に集中・リラックスできて、とても頼もしい存在です。

## 虹色でんしゃという場所の意味

## 虹色でんしゃの二つの役割

ママたちが集う場所、虹色でんしゃ。そこには二つの意味があります。

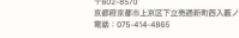
## 子育て中のママが集まつて悩みや情報共有ができる場所

子育ての悩みは様々で、子ども一人ひとりの個性によっても違います。解決策にこれといった正解はないけれど、ここに来れば似た悩みを持つ、持っていたママたちに出会い、「うちもこうだったよ」という言が聞けるかもしれません。お母さん（学術的な講義や専門的な話を聞くことももちろんありますけれど、身近な先輩・仲間から共感してもらえることがきっと他の変化になることがあると思うのです。参加者、スタッフのみんな自身のようなら親近感があり、「これしだいよな～」「でもがんばるな～」と協力を共有して少し楽になる、そんな場所にして利用してもらっています。」

## 新しいことを始めたい、自分のスキルを試したいママたちのチャレンジの場所

また、虹色でんしゃのスタッフは、ほとんどが元利用者さん。元美容部員の方が美容講座を行ったり、それぞれ自身のスキルを活かした講座を開かれています。虹色でんしゃは、新しいことを始めたい、何かにチャレンジしたいママにとって、それを可能してくれる場です。

## 想が循環する場



自分がしたことは、自分に返ってきます。はじめはママにお願いすることもあったというこの活動も、利用者の方が手伝います。と言ってくれ、またそのスタッフが講師として講座を開いており。さらにそれを見た方が自分も何か始めてみよう、というサイクルが出来ており、また、そんな場が理想だと語る方だ。

利用者、スタッフのみなさんが身内のよな距離感で安心できる虹色でんしゃ。サイクルはどんどん続いていきます。

虹色でんしゃ 公式サイトへ →

## ③ 子育て支援拠点ぼちぼちステーション 地域おこしを楽しむボランティア。地域おこしのスペースぼちぼちス...

## 新潟のまほっこり

医療のケアの必要なお子さんとそのご家族の居場所「ぼっこり」。

ネットでどこでも！  
府民交流フェスタ事務局：京都府京都市伏見区伏見桃山町  
(中部担組・府民皆便組合)会員〒602-8570  
京都府京都市上京区下立売通御内町西入ノ内町

電話：075-414-4865

## 団体紹介 主催者の挨拶 フェス概要・経緯

## オンラインステージショー ジャンケン大会

## もうひとつ京都、行こう。

## お問い合わせ

当フェスの活動についてのご質問・ご要望は、

当フェスの会場にて各団体に直接お問い合わせください。

Copyright © きょうと地域創生府民会議 All rights reserved.

↑ トップへ